

のであるが十数年前に比較すると大いに異なつてゐる。萬國の労働者團結せよ、労働者に國境なしといふ言つてゐない、日下各國の獨立關係上先づ労働者は固く祖國を守れと言ふ聲が濃厚である、共產主義の姿を消してゐる、内地の労働運動の振動衰微と同様であることを日撃して歸つて來た。

言つては勞賃の利益相及するものなりとの前提の下に闘争題目を中心として來たか今日では労働者が團結して闘ふのではなく産業に協力する、若し資本家に預託なる者ある場合は依然と立つと言ふ事は労働大衆の氣力強い事である。自らの眼見を養成し内に反省して後外に協力する。然し正しからざるものは容赦せぬと言ふこの内容方面に力を入れる事は進歩であり強味である。

中央でよく聞く九州聯合會は純同協中敢も實績を上つてゐ

られる、これが起因する處は中心人物、幹部の人格である。中大の幹部諸君から聞くことであるが幾時労働が今日の成績を挙げてゐるのは三木清郎君の爲たと言ふことであるか昔ならばダラ幹と言われたであらう。今日のリーダーは先づ人として完成された人でなければならぬ、労働組合の中からそう言われると言ふ事は組合の將來性があると確信する。伊藤會長の先づ人格を作らねばならぬ之か健全なる發展だと言ふ考へ方^れ之を中心にして其他幹部の人々の考へと同化して常に人格的修養と止戦に進進して資本家と共に我國産業の發展の爲盡されん事を願ふ。

日本製鐵従業員組合 岡 藤 三 郎

最近北九州の労働運動が軌道に乗つて來た事を確信する、日鐵も伊藤會長の盡力で強力なる單一組合となり進進の線上に